

第116回

2009年11月12日

枚方市内の史跡巡り "パート2" 歩行距離 約5.0km
 京阪交野線 郡津駅 ⇨ 釈尊寺 ⇨ 甚兵衛屋敷跡
 ⇨ 金龍寺 ⇨ 西願寺 ⇨ 祐念寺
 ⇨ 春日神社(昼食・写真撮影) ⇨ 中山観音寺跡
 ⇨ 蚊入らずの藪 ⇨ 藤田山古墳 ⇨ 山田神社

史跡巡り



出発の挨拶



霊鷲山 釈尊寺



甚兵衛屋敷跡



白雲山 金龍寺



金龍寺 ちから石



西願寺



祐念寺



1グループ集合写真(春日神社)



2グループ集合写真(春日神社)



春日神社 愛宕社



蚊入らずの藪



中山観音寺跡 牽牛像



中山観音寺由来



中山観音寺観音堂跡



山田神社



定例行事

第二一六回 史跡巡り

百十六回枚方市内の史跡巡り「パート2」は、40名の参加で11月12日に実施した。

京阪電車交野線群津駅に集合し釈尊寺町より茄子作北、茄子作二丁目、三丁目と香里ヶ丘や山上四丁目目潜在する史跡10ヶ所を巡った。



春日神社で集合写真

今回、茄子作より離れた香里ヶ丘まで足を延ばしたのは、中山観音寺跡にある松愛会寝屋川支部会員の石橋聖一さんがデザインされた『牽牛像』の見学をしたいとの思いが強くあった。

石橋さんは幅広く彫刻活動をされており、パナソニックの施設や枚方市などに数多くの作品があります。今回その一つを見学した。



牽牛像に見入る参加者

今年暖かさが続き遅い紅葉であったが歴史に触れながら歩いた町並みのぶらり散策も、新鮮な一時であった。

第四十四回 友呂岐会

昨年11月26日に遷都千三百年を控えた奈良平城京を訪れ、その中心となる平城宮跡・鑑真和尚の唐招提寺・東大寺大仏殿を見物した。松愛会奈良東支部の山本さんが所属する「ボランティアアガイドの会」四人の方の説明付きで見物したが、単に名所旧跡を巡るだけでなく平城京の日本史に残



大仏殿を見学



平城宮跡で説明を聞く

した影響などが充分に理解できた。当日は天気もよく修学旅行生も多く見かけ、外人と話をする体験のなか割り込んで話し出す会員さんもいた。大仏さんの花の大きさに切りぬいた柱穴をくぐる旅行生を見て昔の自分を思い出した会員も多かったのではないだろうか。名物の鹿がいたる所において餌をやる人について回り、

のを耳にし、やっていて良かった」と思いました。身近にある新聞やチラシ、ハンカチ等を使い費用を掛けずに、との先生の方針で楽しい内容にしています。



同好会紹介



寝屋川便りの発行は今年で13年目となる。最初に取り組まれた先輩方は大変な作業をされていた。最初はワープロで切り張りをしてレイアウトをしたと聞きした。今回初めて専用ソフト「パーソナル編集長」を使った。始めは理解するのに苦労したが、練習を重ね使い方が判ると、こんなに使いやすいものなのかと改めて感心している。25号まではワードを使用していたが、これで作成することは本当に難しいと改めて感じる。

での演武・忘年会等の行事を行い会員相互の親睦を図っています。

太極拳は、誰にでもできる、その独特のゆっくりした動きで、私たちの年代に最適な健康法といわれていますので、支部会員の皆さんのご入会を熱烈歓迎いたします。

元氣サークル

(太極拳同好会)

(八木俊孝)

(嶋田孝美)

今回のパーソナル編集長は新聞などを作成するソフトなので使い勝手が良いのは当たり前である。また印刷を今回は市民会館で行った、少し写真の画質が悪いが、今後改善を進めていく、費用は4分の1程になった。何事でも新しいことへの取組にはしり込みをしがちだが思い切って取り組むことで今までにない感動が与えられることを今回の寝屋川便り編集で体験できた。(柳生守義)

マジックで社会貢献

この会は平成16年に発足、今年で六年目を迎えます。メンバーは14名で月一回楽しく練習をしています。練習の成果は各人が老人ホームや小学校、自治会等で披露し、多くの方々喜んでいただいています。先日もあるホーム職員様から「皆さんのこんな笑顔を見るのは初めて」と感動されている

太極拳で健康増進

元氣サークルは、現在会員四十名で、伝統楊式太極拳を、水曜日、土曜日の週二回保健福祉センター五階の多目的ホールで、10時から練習をしています。講師は一班会員の上岡博先生にお願いし、一昨年から組織を運営委員会体制とし、運営委員長を中心に、定期的に合宿研修・新春演武会やお花見・寝屋川祭り

後記

ウツをしたと聞きした。今回初めて専用ソフト「パーソナル編集長」を使った。始めは理解するのに苦労したが、練習を重ね使い方が判ると、こんなに使いやすいものなのかと改めて感心している。25号まではワードを使用していたが、これで作成することは本当に難しいと改めて感じる。